



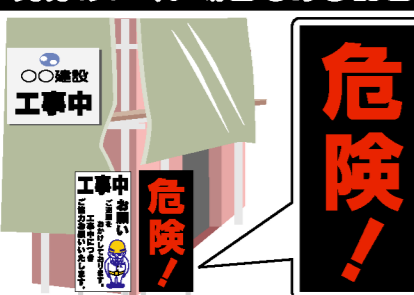
ふくしま博士に聞いてみよう!!

「ユニバーサルデザイン」とは、障がい者やお年寄り、妊婦、外国人、子どもなど、より多くの方が安全で快適に暮らせるためのもの。生活の中で、色で情報を判断することは案外多いよね。でも、色の見え方はみんな同じとは限らなくて、特定の色や色の組み合わせが見分けにくい人もいるんだ(例:「黒地に赤い文字」や「水色とピンク」など)。色の不都合は本人や周りも分かりにくく、見過ごされがち。それを理解して、配慮しながら、できるだけ多くの人に正確な情報を伝えることが「カラーユニバーサルデザイン」なんだ。

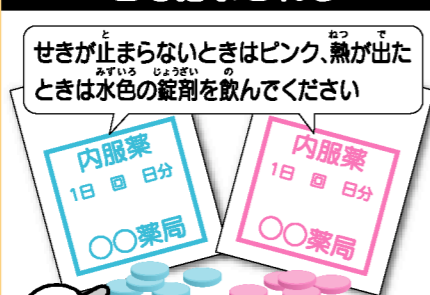


こんなことが困る

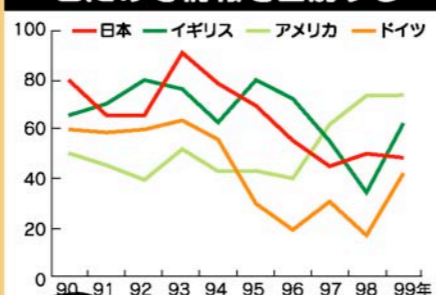
見分けにくい場合もある配色



色で指示される



色だけで情報を区別する



大事なことが、分かりにくくなるんだね。

どちらの薬を飲めばいいのか、分からなくなるんだね。

どれがどれだか分からなくなってしまう場合もあるのね。

これが「カラーユニバーサルデザイン」

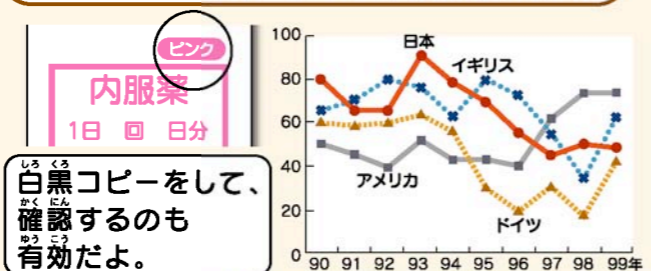
見やすい配色や色の濃さを心掛ける



色の違いだけに頼らない



模様や境界線、アイコンや説明を加える



まとめ



色による情報の伝わり方は、すべての人に共通ではないと意識することが必要なんだ。ユニバーサルデザインとは、「使いやすさを追求したデザイン」ですべての人にとって価値があるもの。建物や製品だけでなく、情報やサービス、そして「こころ」のユニバーサルデザインが大切なんだ。



マンガでわかる カラーユニバーサルデザイン

誰もが使いやすいユニバーサルデザイン。最近、建物や製品だけでなく、色のユニバーサルデザインが注目されているんだ。どうしてかな？そんな疑問に分かりやすくお答えします。

